



佐賀大学 SAGA UNIVERSITY

理工学部 FACULTY OF SCIENCE AND ENGINEERING

2025 年 10 月 27 日

インドネシア・ハサヌディン大学において 国際パートナーシップ教育プログラムを開催

【概要】

2025 年 9 月 8 日～9 月 24 日の期間に、インドネシア南スラウェシ州にあるハサヌディン大学工学部において国際パートナーシップ教育プログラムを開催し、理工学部都市工学分野の学生と理工学部の学生国際交流組織「STEPs」の学生が参加しました。

【本文】

理工学部は、インドネシア・南スラウェシ州マカッサル市にあるハサヌディン大学（Hasanuddin University）工学部と長年にわたって交流を続けており、近年では毎年 9 月に日本人学生とともに海外研修を実施しています。今年度は 9 月 8 日から 24 日までの 18 日間、「低平地における持続可能な社会基盤の構築」をテーマに、短期インターンシップ型の国際パートナーシップ教育プログラムを開催しました。

本プログラムには、理工学部都市工学部門の 4 年生 4 名、理工学部の学部長表彰を受けた学生による国際交流組織「STEPs」の学生 4 名、ハサヌディン大学工学部出身で現在は理工学研究科博士後期課程に在籍する Afif Fauzan Muslim 氏が参加しました。また、引率教員として、都市工学部門の押川 英夫 教授と三島 悠一郎 准教授が参加し、現地での学習・交流活動を支援しました。ハサヌディン大学工学部では、土木工学科の Tri Harianto 教授をはじめとする教員がホストとして全面的に協力し、講義や現場見学、学生交流の場を設けてくださいました。

現地では、学生たちが積極的に英語でコミュニケーションをとり、限られた 18 日間の中で大きく成長する姿が見られました。当初は緊張していた学生たちも、プログラムの後半には自信を持って議論や発表に臨むようになり、「また必ず訪問したい」と語る学生もいました。ハサヌディン大学の学生との交流を通じ、文化や価値観の違いを超えて協働する力を実感する貴重な機会となりました。

今年度からは、語学研修や特別講義などの事前研修に加え、成果を振り返る事後研修も実施しており、海外渡航研修の教育効果を一層高める体制を整えています。また、本プログラムは 2025 年 5 月に締結したハサヌディン大学とのサンドイッチプログラム協定とも連動しており、今後は大学院レベルでの共同教育・研究のさらなる発展が期待されます。

本プログラムを通じて、本学部が掲げる「幅広い教養と理工学基礎力の養成」および「複眼的・俯瞰的な視野の獲得」という教育理念の実現に寄与していきたいと考えています。

なお、本プログラムは、佐賀大学戦略的パートナーシッププロジェクト、理工学部国際パートナーシップ教育プログラム、および海外留学支援制度（協定派遣）採択事業「低平地における持続可能な社会基盤構築に向けた国際協働教育短期インターンシッププログラム」の支援を受けて実施されました。関係機関の皆様には深く感謝申し上げます。

参考記事：2025/6/11

インドネシア・ハサヌディン大学工学部と佐賀大学大学院理工学研究科がサンドイッチプログラムに関する協定を締結

https://www.se.saga-u.ac.jp/news/ie/ie_202506111235520000.html



参加者の集合写真



ワークショップの様子